

<空の安全・安心を！ 整理解雇 4 要件を守れ！>

京都のつばさ 街頭宣伝用ニュース 第 19 号 2013. 3. 18

日本航空の不当解雇撤回をめざす京都支援共闘会議・発行



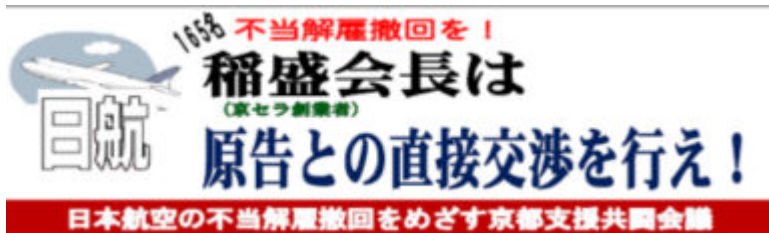
京都市中京区壬生仙念町 30-2 ラポール 5F 京都総評気付 ☎075-801-2308 (第 21 回定例宣伝)

JAL 不当解雇撤回を！ 稲盛名誉会長は

「意味深な名前」なのか？！ インサイダー取引



JAL 稲盛名誉会長のインサイダー取引疑惑・国会質疑で麻生財務相正式答弁
2.18 京都労働争議支援総行動で怒りの報告



2月18日、大雨について「2013年春 労働争議支援京都総行動」が行われ、京都総評や JAL 争議京都支援共闘などに加盟する 28 労組・団体、85 人が参加した。今年の春の争議総行動は、日本航空の稲盛和夫名誉会長が創業した京セラ本社から出発し、南区の日本電産 (解雇撤回闘争)、亀岡の京都農協 (不当労働行為・不当解雇撤回闘争)、下京区の日航プリンセスホテル京都 (JAL 争議) での門前宣伝や申入れを行い、JR 京都駅前の大宣伝行動で締めくくった。

JAL 不当解雇撤回裁判原告団からは乗員原告団・山口団長はじめ 5 人の原告が参加し、「ボーイングの事故を連日起こした飛行機を 9 日も飛ばしたその安全に無頓着な JAL や ANA の行為は、『儲けなくして安全なし』という『稲盛哲学』、『京セラフィロソフィ』から生み出されている」と抗議し、一日も早いベテラン労働者の現職復帰を訴えた。

最初「もうちは関係ない」と言っていた京セラ本社の担当者も、JAL にいまだに数名の派遣役員を出していることを表明し、原告団員と京都総評・吉岡徹議長を社内に入れ、要請書を受け取った。

その後の行動の時間帯に、国会質疑で JAL の株再上場での稲盛名誉会長のインサイダー取引疑惑の質問がなされ、麻生財務相が「なかなか意味深な名前も出てくる」という返答を行い、日航プリンセスホテル京都前や JR 京都駅前の宣伝で原告からの怒りの報告を行った。

私たちは一昨々大年大晦日に日本航空に解雇されたパイロットと客室乗務員 142 名です。不当な解雇は撤回せよ！と裁判で闘っています。ご支援よろしくお願ひします。」

We are 142 crew members, pilots and flight attendants of Japan Airlines, who were dismissed on New Year's Eve 3 years ago. We brought this case to court in order to reverse this unfair dismissal.

(We were dismissed due to age discrimination and sick-leave record in the past.)

Your kind understanding and support would be greatly appreciated. Thank you.

우리들은 2010 년 12 월 31 일, 일본항공사에서 해고당한 파일럿과 객실승무원 142 명입니다. 부당한 해고에 대한 철회를 요청하는 재판을 걸고 투쟁하고 있습니다. 여러분께, 많은 지원을 부탁드립니다.

「JAL 第三者割増増資、外人株主が 3 分の 1 以上になっていることについて、麻生太郎財務相は 18 日の参院予算委で『上場前だからインサイダーにはなりません、これはおかしい。なかなか意味深な名前もありますよ』と答弁した。・・昨年 9 月に再上場を果たした JAL。その第三者割増増資にあたっては、稲盛和夫名誉会長が出身母体の京セラ、上場主幹事の大和証券グループ本社がそれぞれ 50 億円ずつ購入していたり当時から不透明さを指摘する声も」 (YUCASEE より)